

三宿病院・リハビリテーション科における臨床研究と学会又は学会誌への報告のご案内

リハビリテーション科では、三宿病院・倫理委員会の承認を得て、平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで間に、急性期脳卒中患者に対するリハビリテーションの介入頻度が身体機能についてどの程度回復の影響を及ぼすのかを検討するための後方視的調査研究を実施します。

廃用症候群を予防し、早期の日常生活動作向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに出来るだけ発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが推奨されております。当院では 2007 年 10 月より脳卒中センターを開設し 6 床の Stroke Care Unit を含む 19 床の脳卒中病棟を有し 2012 年 10 月より 365 日リハビリテーションを開始しております。回復期リハビリテーションでは 365 日のリハビリテーションを導入しているところがほとんどですが、急性期病院では 365 日リハビリテーションを実践できているところは決して多くはありません。早期から充実したリハビリテーションが必要と考えており、365 日リハビリテーションの効果について研究しその有効性と安全性を明らかにして、今後の診療に役立てる所存です。

今回の研究では治療介入を伴わない既存資料のみを用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定される情報は収集いたしません。なお、今回の研究データを将来の研究のために用いたり、他の研究機関に提供する可能性があります。その際には研究課題について倫理委員会の審査を再度受け承認を得て実施いたします。

当臨床研究は平成 26 年の文部科学省と厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理 指針」でいうところの「侵襲を伴わない研究」、「介入を行わない研究」、「人体から取得された試料を用いない研究」であり、三宿病院の倫理委員会でも承認されています。しかしながら、指針では「研究者等は、インフォームド・コンセントを受けることを要しないが、インフォームド・コンセントを受けない場合には、研究に用いられる情報の利用目的を含む当該研究についての情報をホームページにて公開し、研究が実施又は継続されることについて、研究対象者等が拒否できる機会を保障しなければならない。」と、記載されています。

今回、我々は当院の倫理委員会の規定に基づいて、三宿病院のホームページにおいて公開することといたしました。尚、当件についてのお問い合わせやご相談等がございましたら、三宿病院事務部庶務課までご連絡ください。今後もさらなる研究を積み重ね、皆様に信頼される医療機関となるべく、努力してまいりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

リハビリテーション科 岩本 康之介